

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース シラバス

開催方法 (○で囲む)	1 ライブ 2 オンデマンド
※ 配信日時 (ライブの場合)	令和6年8月7日(水) 9:00 ~ 10:30
科目名	バイオ医薬1「バイオ医薬品概説」
担当教員	富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 磯貝 泰弘 氏
授業の内容	近年、バイオ医薬品の利用は増加の一途を辿っています。全世界でのバイオ医薬品の売上高を見ると、2015年には1,840億ドルであったものが2022年には3,370億ドルに達すると予測されています(EvaluatePharma, 2016)。また、医薬品のトップ100シェアについても、2022年にはバイオ医薬品が50%を占めると予測されています。これに伴って、医療関係者、薬剤師、製薬企業、研究者等、多くの分野でますます多様な知識および技能が求められる時代となってきました。本講義では、天然タンパク質の分子進化から紐解いて、タンパク質と薬剤分子の相互作用、構造創薬、第一世代バイオ医薬品、現在のバイオ医薬品の主力である抗体医薬品および想定される次世代バイオ医薬品について概観します。
学生の到達目標	・ 分子構造を基盤として薬が効く仕組みを理解する ・ バイオ医薬品と低分子医薬品の違いを理解する。 ・ バイオ医薬品の種別(第1～第3世代)を理解する。 ・ バイオ医薬品の歴史、現状、今後について理解する。
キーワード	分子進化、構造創薬、抗体医薬
その他、受講上の 注意事項や学習 上の助言など	